



## 今月のテーマ 「センサーを避けてしまう人への対策」

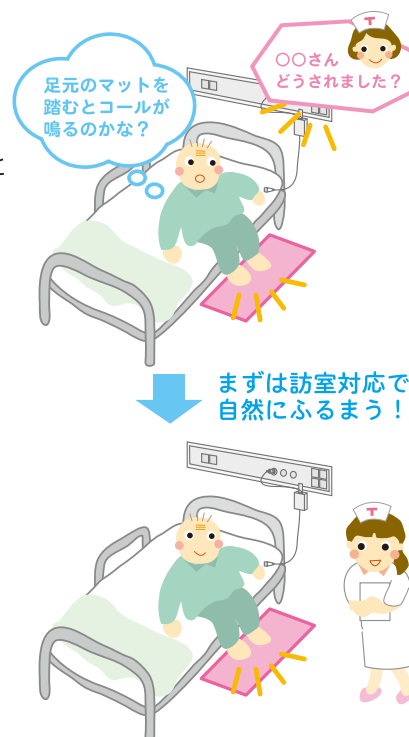
多くのお客様に、テクノスジャパンの「徘徊コールⅢ」や「コールマット・コードレス」を使っていた中で、患者さんがセンサーを避けてナースコールが鳴らなかつた…、という悩みを抱えていらっしゃる病院・施設様もまだいらっしゃるようです。今回は基本的に立ち返り、床敷きのセンサーを避ける方をセンサーへ誘導する工夫をご案内いたします！

### 床敷きセンサーの課題

「センサーが報知せず、患者さんが病室の外へ出ていた！」このような経験はないですか？  
床敷きタイプのセンサーは、対象者がベッドから降りようと足を床に下ろした時、また居室から出ようとした時に知らせますが、「センサーを踏む」行動がなければ報知しません。  
対象者がセンサーを避ける場合は、対象者をセンサーに自然に誘導する工夫が必要です。

### 床敷きセンサーへの誘導方法

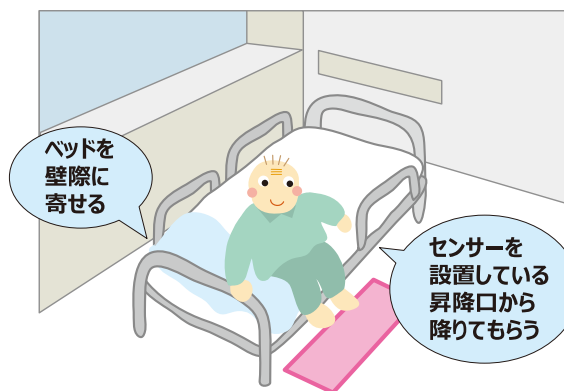
センサーに足を下ろした時のコールを、通常のコールと同じような対応をしてしまうと、対象者がナースコールを押していないのに、度重なると変だな？とセンサーの存在に気づき、意識的にセンサーを避ける要因になってしまいます。  
通常のコールの対応を音声で応答せず、まずは居室に行くなど、それと気付かない対応を試みてください。  
その他に、病院・施設様で実際に行われている「患者様を床敷きセンサーに誘導する工夫」を紹介いたしますので、是非参考にしてください。



### 工夫その①

#### “ 決まった昇降口への誘導 ”

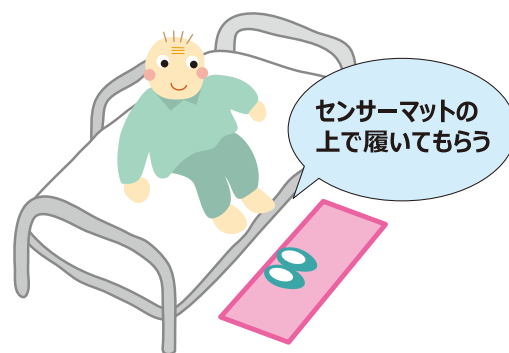
センサーを設置していないベッドの側面を壁際に近づけたり、柵の設置を工夫したりすることによりセンサーを設置していない場所からベッドを降りてしまうことを防ぎます。



### 工夫その②

#### “ センサーの上に履物を揃えて置く ”

巡回の際は、センサーの上に履物を揃えるようにします。  
履物がセンサーの上にあることにより、自然にセンサーへの誘導をすることができます。  
また、履物が揃えて置かれていると、対象者が無理な体勢で履物を探して転倒することを防ぐことができます。





### 工夫その③

## “スマットでスタッフと患者さんを識別”

スマットは、患者さんを識別してナースコールが鳴るセンサーです。スタッフは「スマット」を堂々と踏むことができるので、患者さんに怪しまれたり、気付かれることはありません。



「スマット」は履物を履いていると報知しません。

スタッフが踏んでもナースコールは鳴りません！



### その他

## “床敷き以外のセンサーを利用する”

工夫だけでは対応できない場合、床敷き以外のセンサーに変更することも有効です。テクノスジャパンにはたくさんのラインナップがあります。「ベッドセンサー」はベッドパッドやシーツ等で覆うので、患者さんには見えません。同じく「サイドセンサー」も、マットレスに巻き付け設置し、シーツで覆うので気付かれにくいセンサーです。

### 1. マットレスに巻き付けシーツで覆うセンサー



センサーが見えないので  
気付かれにくい

サイドセンサー

### 2. マットレスに敷きベッドパッドで覆うセンサー

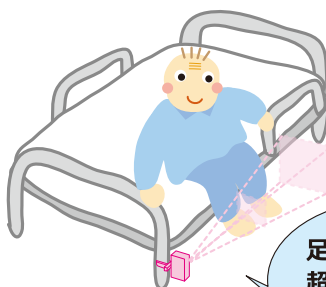


センサーが見えないので  
気付かれにくい

ベッドセンサー

そのほか、超音波と赤外線 の 2 つのセンサーで人の動きを検知する「超音波・赤外線センサー」やドアの開閉を検知する「ドアセンサー」があります。

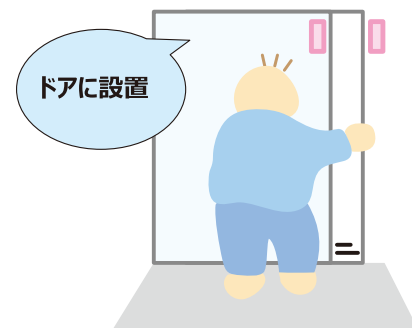
### 3. 見えない足元に設置するセンサー



足元に設置  
超音波と赤外線  
で検知します。

超音波・赤外線センサー

### 4. ドアに取付けるセンサー



ドアに設置

ドアセンサー